

1989年1月8日 - 2019年4月30日

# 平成をふりかえる

## ～映像から残された課題を考える～

今年 5 月 1 日に新元号が施行されます。そこで平成の 30 年間で世界と日本が大きく変化した 4 つの時期に焦点をあてて、映像と重要史料を見ながら新時代に残された課題について考えます。

回	日程	内 容
1	5 月 8 日	バブル崩壊と米ソ冷戦構造の終焉（1989～1991 年）
2	5 月 15 日	55 年体制の崩壊と連立政権時代（1993～1995 年）
3	5 月 22 日	9・11 と「小泉改革」（2001～2006 年）
4	5 月 29 日	民主党政権と 3・11（2007～2011 年）

- 時 間** いずれも水曜日(全 4 回)  
午前 10 時～正午
- 場 所** 公民館東分館集会室 A・B
- 対 象** 市内在住・在勤・在学の方
- 定 員** 40 人(申込順)
- 参加費** 無 料
- 応募方法** 4 月 4 日 (木) 午前 9 時から電話、  
または公民館東分館窓口へ。

**● 講 師 ●**

あきら  
**山田 朗**さん

(明治大学文学部教授・平和教育登戸研究所資料館館長)

大阪府出身。専門は日本史学。『近代日本軍事力の研究』（校倉書房、2015 年）『兵士たちの戦場—体験と記憶の歴史化—』（岩波書店、2015 年）、『日本の戦争：歴史認識と戦争責任』（新日本出版社、2017 年）ほか著書、共著多数。